

# Monthly Times (H28. 10月号)

☆創造・自律・共生☆

★有田中央高等学校★

## 体育大会 秋空に歓声響く！



20日(木) 爽やかな秋晴れの下、体育大会を実施しました。旗を掲げた各クラスの代表が集まり、体育委員長の3年1組辻本海君が「私たち生徒一同は日頃の練習の成果を発揮し、一生懸命楽しみ、安全にそして美しく正々堂々と戦うことを誓います。」と力強く宣誓し、競技が始まりました。

今年から生徒の自主性を育てるため、「学年の枠を越えたブロック制」に取り組み、「ブロック対抗応援合戦」等プログラムの大幅な見直しを行いました。初めての取り組みに時間がかかり終了が大幅に遅れ、保護者の皆さまにご心配とご迷惑をおかけしました。今後はより一層、綿密な計画による学校行事の実施および保護者の皆さまとの連絡を密にすることに努めてまいりたいと考えています。なお、3年生中心にリーダーシップを発揮し後輩達をまとめ、有田中央高校初の「応援合戦」をはじめいくつかの競技を創り出すことができました。

競技種目は個人・集団に分かれ、クラス対抗で得点を競い合います。種目もバラエティに富み、個人の「竹馬走」「フライングディスク投げ」や集団の「スプーンリレー」「長縄とび」などユニークなものも。生徒も真剣に取り組み随所に白熱した勝負が繰り広げられ、特に綱引きの準決勝・決勝戦が盛り上がり2年生が大健闘し、最後は3年生が貫録を見せつけました。クラス対抗の600mリレー(男女混合)も盛り上がり、歓声・どよめきがグラウンドいっぱい響き渡りました。すばらしい体育大会となりました。

総合順位 1位 2年3組	2位 3年5組	3位 2年2組	ベストチームワーク賞 2年4組
ブロック総合順位 1位 黄	2位 青	3位 赤	クラス対抗リレー優勝 2年3組

## 「どう生きるのか」熱く語る講演会



11日(火) 12日(水)、の2日間にわたり、木下威征氏の講演会を各学年別に行いました。木下さんは東京でフランス料理店を始めとして現在7店舗のオーナーシェフとして、「お客様へのおもてなしの心」に重きを置き「一食入魂」の想いを胸に日々厨房にて腕を振るわれています。また、TV出演ほか数多くの雑誌に掲載されるなど大活躍中の方です。木下さんは高校時代、素行が悪く母親を泣かせてしまいましたが、やがて心を入れ替え苦学で料理学校を首席で卒業。フランス・イタリアで修業を積み、26歳という最年少で料理長になり少々“てんぐ”になっていました。しかし、レストランに来てくれる、ある家族との出会いで転機を迎える事となりました。この講演会から、生徒は今後生きていくうえで「大切な事は何か」を考える機会を得、又たくさんの「勇気」をいただきました。以下に、生徒の感想を紹介します。

- ・「人生は勉強」とよく聞くけど、本当にそうだなとお話を聞いて感じました。
- ・失敗を繰り返してもいいから何事にもチャレンジする勇気をいただきました。
- ・暴走族の時の仲間を思いやる心が今の仕事で活かされているのがわかった。料理人の卵を2000人以上作って下さい。
- ・「嫌な客にほど笑顔で接しろ」と、「そうすれば自分の好きな人も寄ってくる」という所が印象に残った。
- ・自分が今やりたいと思ったことに対してだけでなく、今やるべき事に対しても、しっかり取り組もうと思いました。
- ・講演を聴いて自分の夢が変わりました。たくさんの人を笑顔にする仕事につきたいと思いました。
- ・悩みがあってもあせらずにゆっくりでいいんだという事を学びました。少しずつでも壁を乗り越えられればいいなと思います。
- ・小児ガンの女の子の話に自分も泣きそうになり、女の子のためにお子様ランチを作った想いととても感動しました。
- ・どん底に落ちた時でも、その後の自分の頑張りようによっては何度でも立ち上がれるという事を改めて感じました。
- ・自分だけではかなえられなくても、色々な人の協力や支援が自分を支えている事がわかりました。これからは誰かを頼りながら、又頼られる存在になれるようにがんばりたいです。

## 第110回有田中央祭(品評会・文化祭)合同会議開催

21日(金)、午後7時から第110回有田中央祭(品評会・文化祭)に向け、合同会議が開催されました。参加者は、PTA、同窓会、地域協育会の方々と本校教職員。互いに連携しあって歴史ある品評会・文化祭を盛り上げていこうというものです。前半では、品評会のそもそもの趣旨や長い歴史、準備日程及び当日のスケジュールについて説明を行いました。後半は各地域毎に分かれ、農産物の出品勧誘や、集荷・搬入等について打合せを行いました。

今年の有田中央祭の一般公開は11月19日(土)9時～14時です。農産物品の展示や目白押しのイベント、そして生徒の頑張りを、ぜひともご覧いただきたいと思ひます。

## 福祉「介護の日」啓発活動

28日(金)、福祉系列3年生14名は有田郡市内の7中学校へ分かれて、朝7時半より8時過ぎまで「介護の日」の啓発活動を行いました。高齢化社会を迎え、介護の必要な高齢者が安心して暮らせる地域づくりが課題になっています。福祉系列で学ぶ生徒が介護に関する啓発を行うことで専門職としての意識を高めるとともに、みんなが介護を身近に感じるための日である「介護の日」について中学生に啓発する事を目的に実施しました。各中学校の正門付近で、登校してくる中学生に、ちらし付きのマスクを配布させていただきました。



## クラブ活動

## HOT

## NEWS

[吹奏楽部]

近況報告

### 9月もフル回転!

吹奏楽部は現在8名の小所帯ですが、各自がそれぞれのパートでがんばっています。吹奏楽部は今年の夏休みも毎週のように本番があり、今年度は9月の終わりまでに15回の演奏の機会がありました。6日のJAでの演奏ではファミリー向けの曲(アニメ曲)を選び、21日の吉備苑敬老会には演歌を中心に演奏するなど、聴いてくださる方々のことを思いながら練習を積み重ねています。12日には湯浅中と初めて合同練習を行い、交流を深めました。近い将来、一緒に同じ舞台に立つことを願っています。今年はおかやま国体で音楽パフォーマーとして26日の開会式で「歓喜の歌」と「明日へと」を演奏しました。様々な演奏の機会に、地域の方々とふれ合うことができました。

### 出張授業・本格的和食料理

21日(水)大阪調理製菓専門学校の小崎成泰氏と鈴木啓史氏をお招きし、食育コースの2・3年生19名が本格的な和食料理に挑戦しました。メニューは「小鯛の薄造り」と「握り寿司」で3枚卸しと寿司の握り方について、懇切丁寧に教えていただきました。今春の卒業生の高垣さんと石倉さんも同行され、お手伝いしてもらいました。「魚をさばいたのは初めてで難しかった。上手って言われてうれしかった。家でまたやってみようと思った。手の匂いがなかなかとれなくてつらかった。」「人のを見ている限り簡単そうに見えたけど、実際にさばいてみると難しかった。」「お寿司をにぎるのは初めてで、ご飯の量をどのくらい取ればいいのか難しかったけど、にぎり方もちゃんと教えてくれたので楽しかった。本格的な料理を作れたので、いい経験になった。」(生徒感想から)

